



Weekly Bulletin

CREATE HOPE in the WORLD

世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

世界に希望を生み出そう

静岡ロータリークラブ

●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/平尾 清 ●副会長/川辺 哲 ●幹事/番匠 俊行 ●副幹事/横山 泰久

2023-2024

5月27日



第3703回例会

環境保全委員会

環境例会



●ロータリーソング●



ソングリーダー
神谷 真太郎君

●ゲスト紹介●

米山奨学生 ソリマン・ゼアド様

●会長挨拶●

会長 平尾 清様

5月の最終例会、残り一ヵ月となりますが、名残り惜しいような気分です。次年度メンバーは川辺会長と横山幹事のコンビとなります。ロータリーの単年度方式は気分一新し、次々から新しい会長・幹事が出て、その年の真面目に考えている姿を見て、寂しい気持ちもありますが、バトンタッチへの期待を感じてい

ます。知事選では大村さんは負けてしまい残念でした。投票率の低さは、焦点がぼけてしまったのか、なんだったんでしょう。また静岡県が西部は鈴木さん、中部・東部は大村さんと分断されたことに驚きました。新知事が県中部・東部の経済界にどのように働きかけていくのかしっかり見守っていきたいと思います。



●退会の挨拶●

株式会社巴川製紙所 古谷 治正さん

月曜日が年末まで都合が悪くなり、出席できなくなるため後進に譲ることとしました。皆様の人柄、スケールの大きさに感動しました。この●年間、感謝申し上げますが、有難うございました。

●幹事報告●

幹事 番匠 俊行さん

6月末は夜間例会となっており、盛大に実施いたしますので皆様お時間の調整よろしくお願いたします。

●おめでとう●

【誕生祝い】

●月●●日 山本達訓さん

【結婚記念日】

●月●●日 鈴木善也さん・まゆ子さん

●月●●日 伊藤正彦さん・弥栄子さん

●月●●日 平尾清さん・裕美子さん

●月●●日 林亮佑さん・涼子さん

●スマイル●

古谷 治正さん

多くの方々の優れたお人柄に触れとても有意義な時間を過ごさせていただきました。心より御礼申し上げます。有難うございました。

番匠 俊行さん、望月 啓行さん

N T T西日本と田丸屋のコラボレーション、I C Tを活用した施設園芸での辛みの強い畑わさびプロジェクトより 新商品コレカラわさびがいよいよ発売されました。各社のマスコミの皆様にも取り上げられました。有難うございました。

山本 達訓さん

誕生日のお祝い有難うございました。●●歳になりました。これからも健康に留意し仕事に趣味に励んでいきます。引き続きのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

平尾 清さん

本日は結婚記念日です。何回目かな、たぶん●●周年です。

若松 誠さん

結婚記念日に素敵なお花を有難うございました。

満席スマイル

5番 金澤会員テーブル

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数*)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
5/27	104	現地 67名 Zoom3名	-	67.3%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに変更が無い間は全会員出席扱いとします。

メイクアップ対象について、理事会にて規定を明確にしましたので宜しくお願いします。

●細則の改正案●

平尾 清様

予算と決算の規定がややあいまいであったのでお手元の資料の通り整理させていただきました。

1. 予算策定と承認について、次年度の理事会が策定した予算は次年度の理事会にて承認と明記
2. 決算については、年度終了後、すみやかに決算報告書を作成し理事会の承認を得た上で9月末での例会で報告する。
3. 定款変更を含めて文章を整理。10日前に各会員へ郵送→7日前に各会員へ通知に変更

上記について拍手をもって承認可決しました。定款の変更についても理事会にて承認されたので資料にて確認ください。

●環境保全委員会 環境例会●

塩原 太一郎さん



環境保全というと保全しているのは人間のように聞こえるかもしれませんが、人間自体が環境の一部として我々の行動を啓蒙していかなければならないという捉え方になっています。旧人は以前人類は99%までが自然生態系内の一員としての存在であり、環境への影響も極めて微妙でした。しかし現在では地球そのものの存在さえ脅かしています。地球環境をどう守るかは人類史上最大の課題となっています。地球環境問題の本質は人間活動が地球の物質、エネルギーの循環の限界を超え、自然のシステムを破壊してしまうことにつきます。その解決の道としては、(1) 二酸化炭素の排出量規制のような人間活動の抑制、(2) 二酸化炭素の固定化技術やフロン回収分解などの技術開発、(3) 森林保護や植林などの環境の回復の3点にまとめることができます。脱炭素社会、サーキュラーエコノミー、循環型社会の形成は非常に重要になってきます。私は日頃学生とのコミュニケーションを多く取るようにしていますが、我々は経済合理性を優先した社会づくりをやってきましたが、今の学生は経済合理性、持続可能性の両輪でまわす社会の中で生まれてきているので、学生とのコラボレーションをつなげていけたらいいかなと思います。今回のアンケートを実施させていただく事になりました。有難うございました。

